



くすのき



No. 18

H26年9月発行

◆地域ふれあい活動に参加して◆

今年は、8月末の2日間が土日と重なり、子どもたちにとっては例年よりも2日間長い夏休みとなりました。夏休み期間中大きな事故等なく無事に学校が再開されたことは何よりです。8月は、多くの地区でふれあい活動が行われました。お楽しみゲーム、盆踊り、模擬店、防災学習など地域の様々な



8月13日 塩津・川東地区 流しそうめん(左)

8月17日 形原1区 みたらし団子(右)

な実情に合わせ、地域のふれあいが深められた内容でした。特に印象に残っているのは、中学生の活躍です。準備段階だけでなく、当日も運営に携わり地域の役員さんと共に汗する姿が頼もしく感じられました。しかもこういった光景が多く地域で拝見できたこともうれしく思いました。地域の行事に積極的に参加し、地域に愛着を持つ若者が増えることによって、地域の大きな力となるのではないのでしょうか。

◆ニートの若者を持つ保護者への支援も行っています◆

がまごおりサポートステーション(以下「サポステ」という。)では、ニートの若者に、料理教室のような体験プログラムや就職活動セミナーなどの支援を実施していると、前回お話ししました。

サポステに登録している本人の保護者向けに、毎月1回日曜日に「親の集い」を実施しています。本人が登録していなくても、親の集いには参加できるそうです。他の保護者の話を聞くことで気持ちが楽になったり、保護者同士のつながり、支援者とのつながりが出来たりするかもしれません。



ともすると孤立しがちなニートやひきこもりの若者の「家族」を支援する取り組みです。登録していない当事者が、毎月「親の集い」に参加して元気になっていく保護者の姿を見ているうちに、自分もサポステに行こうと決心するケースもあると聞いています。

親の集いは予約制です。サポステへ直接申し込みください。参加費が100円程度かかります。

【連絡先】TEL/FAX 0533-67-3201 (蒲郡市元町9-9)

【開館時間】11:00-19:00

【休業日】日曜日、月曜日、祝日、お盆、年末年始



8月22日西尾市文化会館で「少年の主張 愛知県大会」が行われました。東三河3名の代表として、塩津中学校3年岩瀬真帆さんが、「見えない中にこそある大切なもの」と題して、立派な発表をしました。

10月の補導予定

大塚班 17日(金)18:00 大塚公民館
 三谷班 25日(土) 三谷まつり自主補導
 蒲郡班 地域祭礼 各自補導
 中部班 地域祭礼 各自補導
 塩津班 17日(金)13:30 塩津小学校
 形原班 4日(土)19:00 形原中学校
 西浦班 3日(金)17:20 西浦駅



◆編集後記◆ 「奥三河で今年は、ヒグラシの鳴き声が聞こえない」という新聞記事を目にしました。

そういえば、私が住む長沢でも夏の終わりの夕暮れによく聞くヒグラシの声をまだ耳にしていないうちに感じます。こここのところの天候不順のせいでしょうか。蒸し暑さはあっても、かっと照りつける太陽はあまり見られなかった今年の夏も終わろうとしています。野菜など作物の生育が心配されていますが、子どもたちにとっては、実り多い秋になってほしいと願っています。

